

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

「ウサギとカメ」

近畿地方も 3 日前に梅雨入りの発表がありました。じめじめした蒸し暑い日が続くと思いますが、気持ちはいつも晴れやかに学校生活を送ってください。この時期、道を歩いていると玄関先で見かける、色鮮やかな紫陽花（アジサイ）の花に心が和みます。

6 月 2 日（土）・3 日（日）の両日に行われた中等祭は、絶好の晴天に恵まれ無事終了しました。皆さんの力が結集した素晴らしい文化祭と体育祭でした。1 年生から 6 年生までの異学年の集団がひとつになって取り組む行事こそ、本校の良さであると改めて感じました。

この中等祭を通じて、何事にもやらされるという姿勢でなく、自ら進んで頑張ることが大切だということも学んだことでしょう。この成果を今後の学校生活に活かしてください。

さて、皆さんは「ウサギとカメ」という童話を一度は読んだことがあると思います。

♪もしも かめよ かめさんよ……♪の歌い出しで始まる童謡も親しまれていますね。

ウサギとカメが、かけっこで競争し、どちらが早く山のふもとまで到着するか競う物語です。かけっこを始めると俊足のウサギはどんどん先へ行き、とうとうカメが見えなくなってしまいました。ウサギは少しカメを待とうと余裕を持って居眠りを始めます。その間にカメは着実に進み、ウサギが目を覚ましたときに、カメが先にゴールしていたという内容です。

この物語は、ウサギもカメも私たちに馴染み深い動物なので、日本の昔話だと思っている人も多いのではないのでしょうか。実は、この物語はイソップ物語の一つで海外からやってきた話だそうです。一般に知られるようになったのは、明治時代に国語の教科書に載ってからです。タイトルは「ウサギとカメ」ではなく『**油断大敵**』でした。まさに、その通りで、「**己を過信して怠れば失敗する。あきらめずに継続して努力すれば報われる**」という教訓を知ることができます。『**努力に勝る天才なし**』という名言が思い浮かびます。

ところが、この物語にはもう一つの教訓が隠れています。

それは「**見ているものが違う**」という事です。

ウサギはカメを見ていました。だから、ノロノロとやってこないカメに油断をしてしまったのです。対するカメはずっとゴールを見ていたのです。もしカメが寝ているウサギを見ていたら、自分も休んでいたかもしれませぬ。ところが、そうしなかったのはゴールを見ていたからです。カメはゴールを見ていたから、歩みは遅いけれど足の速いウサギに勝てた。「見ているところが違った」からこの結果が生まれたのです。

つまり、ウサギにとって勝負とはカメに勝つことだけだったのです。しかし、カメにとって勝利とはゴールにたどり着くことだけだったのです。何を目的にするかで結果は変わってしまうという事です。大切なのは**目的をしっかりと明確にすること**です。私たちの生活でも「見ているところ」は正しいか考えてみてください。ゴールを見ずに、周囲ばかり見ていませんか。目的がぶれていたり、間違っているとウサギのようになってしまいます。目的も時期も決めずに、ひたすら歩いていたら自分の望むゴールにたどり着くのは難しいでしょう。いつまでに、何をするのかを具体的に決めて歩みを進めてください。

まわりを気にせず、ひたすら努力する『**一意専心**』（いちいせんしん）の大切さを示した教訓と言えるでしょう。